

I. 開発品（がん領域）の主な進捗状況

平成29年10月27日現在

1. 日本の開発品状況

<承認取得開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	自社 [*] /導入
オブジーボ点滴静注 ^{※1}	効能追加	胃がん ^{※1}	注射	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成30年3月期第1四半期決算発表からの変更点

※1：「オブジーボ」は、がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃がんに対する製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。

*): 共同研究により創出された化合物を含む

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社 [*] /導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	食道がん	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	食道胃接合部がん及び食道がん	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	小細胞肺がん	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	肝細胞がん	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	膠芽腫	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	尿路上皮がん	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	悪性胸膜中皮腫	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	卵巣がん	注射	III	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
カイプロリス点滴静注用	用法・用量 変更	多発性骨髄腫 ／プロテアソーム阻害作用	注射	III	導入 (アムジェン社)
ONO-7643 /アナモレリン	新有効成分	がん悪液質／グレリン様作用	錠	III	導入 (ヘルシン社)
ONO-7702 /Encorafenib	新有効成分	悪性黒色腫 ／BRAF阻害作用	カプセル	III	導入 (アレイ社)
ONO-7703 /Binimetinib	新有効成分	悪性黒色腫 ／MEK阻害作用	錠	III	導入 (アレイ社)
オブジーボ点滴静注	効能追加	固形がん（子宮頸がん、子宮体がん 及び軟部肉腫）	注射	II	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	中枢神経系原発リンパ腫／精巣原発 リンパ腫	注射	II	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	多発性骨髄腫	注射	II	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社 [*] ／導入
オプジーボ点滴静注	効能追加	ウイルス陽性・陰性固形がん	注射	I / II	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-5371 /メチロシン	新有効成分	褐色細胞腫 /チロシン水酸化酵素阻害作用	カプセル	I / II	導入 (バリアント社)
ONO-4686 (BMS-986207)	新有効成分	固形がん／抗TIGIT抗体	注射	I / II	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4059 /Tirabrutinib	新有効成分	中枢神経系原発リンパ腫 /Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	錠	I / II	自社
オプジーボ点滴静注	効能追加	胆道がん	注射	I	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4481 (BMS-663513) /Urelumab	新有効成分	固形がん／抗CD137抗体	注射	I	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4482 (BMS-986016) /Relatlimab	新有効成分	固形がん／抗LAG-3抗体	注射	I	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4687 (BMS-986227) /Cabiralizumab	新有効成分	固形及び血液がん／抗CSF-1R抗体	注射	I	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7701 (BMS-986205)	新有効成分	固形及び血液がん／ID01阻害作用	カプセル	I	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4483 (BMS-986015) /Lirilumab	新有効成分	固形がん／抗KIR抗体	注射	I	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4578	新有効成分	固形がん /プロスタグランディン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	I	自社

***): 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

2. 韓国、台湾の開発品状況

<承認取得開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	腎細胞がん ^{※2}	注射	韓国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	ホジキンリンパ腫 ^{※2}	注射	韓国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	頭頸部がん ^{※2}	注射	韓国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	尿路上皮がん ^{※2}	注射	韓国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	頭頸部がん ^{※3}	注射	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	非小細胞肺癌 (非扁平上皮型) ^{※3}	注射	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	ホジキンリンパ腫 ^{※3}	注射	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	尿路上皮がん ^{※3}	注射	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成30年3月期第1四半期決算発表からの変更点

※2：「オブジーボ」は、韓国において「治療歴を有する進行期腎細胞がん」、「自家造血幹細胞移植及び移植後のブレ
ンツキシマブベドチンによる治療後の再発又は進行した古典的ホジキンリンパ腫」、「プラチナ製剤による治療中
又は治療後に病勢進行した再発又は転移性頭頸部扁平上皮がん」、「プラチナ製剤を含む化学療法による治療中又
は治療後に病勢進行した、又はプラチナ製剤を含む化学療法による術前又は術後補助療法から12カ月以内に病勢進
行した、局所進行又は転移性尿路上皮がん」及び「イピリムマブ併用による切除不能又は転移性の悪性黒色腫」に
対する効能・効果とした輸入販売承認事項一部変更承認を取得しました。

※3：「オブジーボ」は、台湾において「プラチナ製剤による治療歴を有する再発又は転移性頭頸部扁平上皮がん」、
「プラチナ製剤による治療歴を有する進行性の非扁平上皮非小細胞肺癌」、「再発または進行した古典的ホジキ
ンリンパ腫」、「局所進行の切除不能または転移性尿路上皮がん」及び「切除不能または転移性の悪性黒色腫」に
対する効能・効果とした輸入販売承認事項一部変更承認を取得しました。

<申請中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	胃がん	注射	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

*)：共同研究により創出された化合物を含む

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載してお
ります。

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社*) /導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	胃がん	注射	Ⅲ	韓国	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	食道がん	注射	Ⅲ	韓国、台湾	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	食道胃接合部がん及 び食道がん	注射	Ⅲ	韓国、台湾	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	小細胞肺がん	注射	Ⅲ	韓国、台湾	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	肝細胞がん	注射	Ⅲ	韓国、台湾	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7702 /Encorafenib	新有効成分	大腸がん ／BRAF阻害作用	カプセル	Ⅲ	韓国	導入 (アレイ社)
	新有効成分	悪性黒色腫 ／BRAF阻害作用	カプセル	Ⅲ	韓国	導入 (アレイ社)
ONO-7703 /Binimetinib	新有効成分	大腸がん ／MEK阻害作用	錠	Ⅲ	韓国	導入 (アレイ社)
	新有効成分	悪性黒色腫 ／MEK阻害作用	錠	Ⅲ	韓国	導入 (アレイ社)
オブジーボ点滴静注	効能追加	ウイルス陽性・陰性 固形がん	注射	I / II	韓国、台湾	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

3. 欧米の開発品状況

<承認取得開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*)／導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	大腸がん ^{※4}	注射	米国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	肝細胞がん ^{※4}	注射	米国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成30年3月期第1四半期決算発表からの変更点

※4：「オブジーボ」は、米国において「フルオロピリミジン，オキサリプラチン及びイリノテカンによる治療後に病勢進行したMSI-H又はdMMRの転移性大腸がん」及び「ソラフェニブによる治療歴を有する肝細胞がん」を効能・効果とした製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。

*)：共同研究により創出された化合物を含む

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社*)／導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	膠芽腫	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	小細胞肺癌	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	肝細胞がん	注射	Ⅲ	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	食道がん	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	多発性骨髄腫	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	食道胃接合部がん及び食道がん	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	胃がん	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	悪性胸膜中皮腫	注射	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	注射	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	濾胞性リンパ腫	注射	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	中枢神経系原発リンパ腫／精巣原発リンパ腫	注射	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社 ^{*)} ／導入
ONO-4059 /Tirabrutinib	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (B t k) 阻害作用	錠	II	欧州	自社 (ギリアド・サイエンシズ社 に導出)
ONO-7579	新有効成分	固形がん／Tropomyosin receptor kinase (T r k) 阻 害作用	錠	I / II	欧米	自社
オプジーボ点滴静注	効能追加	大腸がん	注射	I / II	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	固形がん (トリプルネガティ ブ乳がん、胃がん、膵がん、 小細胞肺がん、尿路上皮が ん、卵巣がん)	注射	I / II	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	ウイルス陽性・陰性固形がん	注射	I / II	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	血液がん (T細胞リンパ腫、 多発性骨髄腫、慢性白血病、 他)	注射	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	慢性骨髄性白血病	注射	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4059 /Tirabrutinib	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (B t k) 阻害作用	錠	I	米国	自社 (ギリアド・サイエンシズ社 に導出)
ONO-7475	新有効成分	急性白血病／Axl/Mer阻害作用	錠	I	米国	自社

***) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。

II. 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況

平成29年10月27日現在

1. 日本の開発品状況

<申請中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	自社 ^{*)} ／導入
オレンシア点滴静注用	効能追加	若年性特発性関節炎 ／T細胞活性化抑制作用	注射	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)

***)** : 共同研究により創出された化合物を含む

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社 ^{*)} ／導入
オレンシア点滴静注用	効能追加	ループス腎炎 ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
オレンシア皮下注	効能追加	未治療の関節リウマチ ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
	効能追加	一次性シェーグレン症候群 ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
	効能追加	多発性筋炎・皮膚筋炎 ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-1162 /イバプラジン	新有効成分	慢性心不全／I f チャネル阻害作用	錠	Ⅲ	導入 (セルヴィエ社)
ONO-5704 /SI-613	新有効成分	変形性関節症 ^{※5} ／NSAID結合ヒアルロン酸	注射	Ⅲ	導入 (生化学工業株式会社)
オノアクト点滴静注用 50mg/150mg (ONO-1101)	小児での 効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 ／β ₁ 遮断作用（短時間作用型）	注射	Ⅱ/Ⅲ	自社
	効能追加	心室性不整脈 ／β ₁ 遮断作用（短時間作用型）	注射	Ⅱ/Ⅲ	自社
ONO-2370 /オピカポン	新有効成分	パーキンソン病 ／長時間作用型COMT阻害作用	錠	Ⅱ	導入 (ビアル社)
ONO-8577	新有効成分	過活動膀胱／膀胱平滑筋弛緩作用	錠	Ⅱ	自社
ONO-5704 /SI-613	新有効成分	腱・靭帯付着部症 ^{※6} ／NSAID結合ヒアルロン酸	注射	Ⅱ	導入 (生化学工業株式会社)
オプジーボ点滴静注	効能追加	敗血症	注射	Ⅰ/Ⅱ	自社 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成30年3月期第1四半期決算発表からの変更点

※5 : NSAID結合ヒアルロン酸「ONO-5704/SI-613」は、変形性関節症を対象としたフェーズⅢ試験を実施しています。

※6 : NSAID結合ヒアルロン酸「ONO-5704/SI-613」は、腱・靭帯付着部症を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

***)** : 共同研究により創出された化合物を含む

2. 海外の開発品状況

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社 ^{*)} / 導入
ONO-4474	新有効成分	変形性関節症／Tropomyosin receptor kinase (T r k) 阻害作用	カプセル	II	欧州	自社
ONO-4059 /Tirabrutinib	新有効成分	シェーグレン症候群／Bruton's tyrosine kinase (B t k) 阻害作用	錠	II	米国	自社 (ギリアド・サイエンシズ社に導出)
オブジーボ点滴静注	効能追加	C型肝炎	注射	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズスクイブ社と共同開発)
	効能追加	敗血症	注射	I	米国	自社 (ブリストル・マイヤーズスクイブ社と共同開発)
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランディン受容体 (E P 2 / E P 3) 作動作用	錠	I	欧州	自社

*): 共同研究により創出された化合物を含む

主な開発品のプロフィール

カイプロリス点滴静注用 (ONO-7057) /カルフィルゾミブ 注射剤

カイプロリス (ONO-7057) はプロテアソーム阻害剤で、多発性骨髄腫で上市後も開発を進めています。血液細胞の1つである形質細胞のがんであり、予後不良とされる多発性骨髄腫の新たな治療選択肢になるものと期待しております。

国内：多発性骨髄腫 2016年8月上市

国内：多発性骨髄腫 用法・用量追加 2017年5月承認

国内：多発性骨髄腫 用法・用量変更 フェーズⅢ

海外：多発性骨髄腫 米国2012年8月上市、欧州2015年11月上市 (アムジェン社)

オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667 注射剤

オレンシア (ONO-4164) は、国内において、既存治療で効果不十分な関節リウマチを対象に上市されております。また、海外において、既存治療で効果不十分な関節リウマチ及び若年性特発性関節炎を対象に上市されております。

国内：若年性特発性関節炎 申請中 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

国内：ループス腎炎 フェーズⅢ (効能追加) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発、国際共同治験)

海外：ループス腎炎 フェーズⅢ (効能追加) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社、国際共同治験)

オレンシア皮下注 (ONO-4164) /BMS-188667 皮下注

オレンシア (ONO-4164) は、既存治療で効果不十分な関節リウマチを対象に上市されております。

国内：皮下注 125mg オートインジェクター1mL 製剤 2016年5月上市

国内：未治療の関節リウマチ フェーズⅢ (効能追加) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発、国際共同治験)

国内：一次性シェーグレン症候群 フェーズⅢ (効能追加) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発、国際共同治験)

国内：多発性筋炎・皮膚筋炎 フェーズⅢ (効能追加) (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発、国際共同治験)

海外：未治療の関節リウマチ 2016年9月承認

ONO-1162 /イバブラジン 錠剤

ONO-1162 は If チャネル阻害剤で欧州では安定狭心症に加えて慢性心不全での承認を取得しています。国内では慢性心不全を対象に開発を進めています。

国内：慢性心不全 フェーズⅢ

海外：安定狭心症、慢性心不全 発売中 (セルヴィエ社)

オノアクト点滴静注用 50mg/150mg (ONO-1101) 注射剤

国内：心機能低下例における頻脈性不整脈 フェーズⅡ/Ⅲ (小児での効能追加)

国内：心室性不整脈 フェーズⅡ/Ⅲ (効能追加)

ONO-7643 /アナモレリン 錠剤

ONO-7643 は低分子のグレリン様作用薬で、がん悪液質を対象として開発を進めています。本剤は食欲増進や筋肉増強などの生理作用を有するホルモンであるグレリンと同様の作用を持つ低分子化合物であり、がんの進行に伴い食欲不振や筋肉量の低下を特徴とする全身消耗状態 (がん悪液質) にある患者さんの QOL を改善する画期的な薬剤になるものと期待しております。

国内：がん悪液質 フェーズⅢ

海外 (米国)：がん悪液質 フェーズⅢ (ヘルシン社)

海外 (欧州)：がん悪液質 申請中 (ヘルシン社)

ONO-2370/オピカポン 錠剤

ONO-2370 は長時間作用型 COMT 阻害薬でパーキンソン病を対象に開発を進めています。ONO-2370 は既にビアル社が海外で承認取得済みであり、これまでの臨床試験において1日1回の服用により持続的な COMT 阻害活性が示されており、服薬利便性の向上が期待されます。

国内：パーキンソン病 フェーズII

海外（欧州）：パーキンソン病 2016年7月承認（ビアル社）

ONO-5371/メチロシン カプセル

ONO-5371 は、カテコールアミンの産生に関わるチロシン水酸化酵素の阻害剤で褐色細胞腫を対象に開発を進めています。ONO-5371 は、1979年に米国で承認・上市されており、日本では未承認薬・適応外薬の開発促進のために厚生労働省の主催で設置された「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた化合物です。

国内：褐色細胞腫 フェーズI/II

海外（米国）：褐色細胞腫 発売中（バリアント社）

ONO-4059/Tirabrutinib 錠剤

ONO-4059 は Btk 阻害薬でB細胞リンパ腫及びシェーグレン症候群を対象に開発を進めています。

国内：中枢神経系原発リンパ腫 フェーズI/II

海外（欧州）：B細胞リンパ腫 フェーズII（ギリアド・サイエンシズ社）

海外（米国）：シェーグレン症候群 フェーズII（ギリアド・サイエンシズ社）

海外（欧米）：B細胞リンパ腫 フェーズI（ギリアド・サイエンシズ社）

ONO-4059/Tirabrutinib カプセル

ONO-4059 は Btk 阻害薬でB細胞リンパ腫を対象に開発を進めています。

国内：B細胞リンパ腫 フェーズI

ONO-8577 錠剤

ONO-8577 は膀胱平滑筋弛緩作用薬で過活動膀胱を対象に開発を進めています。

国内：過活動膀胱 フェーズII

ONO-4578 錠剤

ONO-4578 はプロスタグランジン受容体（EP4）拮抗薬で固形がんを対象に開発を進めています。

国内：固形がん フェーズI

ONO-8055 錠剤

ONO-8055 はプロスタグランジン受容体（EP2/EP3）作動薬で低活動膀胱を対象に開発を進めています。

海外（欧州）：低活動膀胱 フェーズI

ONO-4474 カプセル

ONO-4474 は Tropomyosin receptor kinase（Trk）阻害薬で変形性関節症を対象に開発を進めています。

海外（欧州）：変形性関節症 フェーズII

ONO-7475 錠剤

ONO-7475 は Axl/Mer 阻害薬で急性白血病を対象に開発を進めています。

海外（米国）：急性白血病 フェーズI

ONO-7579 錠剤

ONO-7579 は Tropomyosin receptor kinase（Trk）阻害薬で固形がんを対象に開発を進めています。

海外（欧米）：固形がん フェーズI/II

オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558 注射剤

オプジーボ (ONO-4538) はヒト型抗ヒト PD-1 モノクローナル抗体で、がんなどを対象として開発を進めています。PD-1 は、リンパ球の表面にある受容体の一種で、生体において活性化したリンパ球を沈静化させるシステム (負のシグナル) に関与しています。がん細胞は、このシステムを利用して免疫反応から逃れているという研究成績が報告されています。ONO-4538 は、リンパ球を沈静化させる PD-1 の働きを抑制することで、がん細胞やウイルスを異物と認識してこれを排除する免疫反応を増進するものと期待しております。

国内：悪性黒色腫 2014年9月上市

国内：非小細胞肺癌 2015年12月承認

国内：腎細胞がん 2016年8月承認

国内：ホジキンリンパ腫 2016年12月承認

国内：頭頸部がん 2017年3月承認

国内：胃がん 2017年9月承認

国内：悪性黒色腫 (ヤーボイ併用) 申請中

国内：食道がん フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：胃食道接合部がん及び食道がん フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：小細胞肺癌 フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：尿路上皮がん フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：肝細胞がん フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：膠芽腫 フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：悪性胸膜中皮腫 フェーズⅢ (国際共同治験)

国内：卵巣がん フェーズⅢ

国内：固形がん (子宮頸がん、子宮体がん及び軟部肉腫) フェーズⅡ

国内：中枢神経系原発リンパ腫/精巣原発リンパ腫 フェーズⅡ (国際共同治験)

国内：多発性骨髄腫 フェーズⅡ

国内：敗血症 フェーズⅠ/Ⅱ

国内：ウイルス陽性・陰性固形がん フェーズⅠ/Ⅱ (国際共同治験)

国内：胆道がん フェーズⅠ

海外 (米国)：悪性黒色腫 2014年12月上市

海外 (韓国)：悪性黒色腫 2015年3月承認

海外 (米国)：非小細胞肺癌 (扁平上皮型) 2015年3月承認

海外 (欧州)：悪性黒色腫 2015年6月承認

海外 (欧州)：非小細胞肺癌 (扁平上皮型) 2015年7月承認

海外 (米国)：悪性黒色腫 (ヤーボイ併用) 2015年9月承認

海外 (米国)：非小細胞肺癌 (非扁平上皮型) 2015年10月承認

海外 (米国)：腎細胞がん 2015年11月承認

海外 (欧州)：非小細胞肺癌 (非扁平上皮型) 2016年4月承認

海外 (韓国)：非小細胞肺癌 2016年4月承認

海外 (欧州)：腎細胞がん 2016年4月承認

海外 (米国)：ホジキンリンパ腫 2016年5月承認

海外 (欧州)：悪性黒色腫 (ヤーボイ併用) 2016年5月承認

海外 (台湾)：悪性黒色腫 2016年5月承認

海外 (台湾)：非小細胞肺癌 (扁平上皮型) 2016年5月承認

海外 (欧州)：ホジキンリンパ腫 2016年11月承認

海外 (米国)：頭頸部がん 2016年11月承認

海外 (米国)：尿路上皮がん 2017年2月承認

海外 (台湾)：腎細胞がん 2017年4月承認

海外 (欧州)：頭頸部がん 2017年4月承認

海外 (欧州)：尿路上皮がん 2017年6月承認

海外 (台湾)：頭頸部がん 2017年8月承認

海外 (韓国)：腎細胞がん 2017年8月承認

海外（韓国）：ホジキンリンパ腫 2017年8月承認
海外（韓国）：頭頸部がん 2017年8月承認
海外（韓国）：尿路上皮がん 2017年8月承認
海外（韓国）：悪性黒色腫（ヤーボイ併用）2017年8月承認
海外（米国）：大腸がん 2017年8月承認
海外（米国）：肝細胞がん 2017年9月承認
海外（台湾）：非小細胞肺癌（非扁平上皮型） 2017年9月承認
海外（台湾）：ホジキンリンパ腫 2017年10月承認
海外（台湾）：尿路上皮がん 2017年10月承認
海外（台湾）：悪性黒色腫（ヤーボイ併用） 2017年10月承認
海外（台湾）：胃がん 申請中
海外（欧米）：多発性骨髄腫 フェーズⅢ
海外（欧米、韓国）：胃がん フェーズⅢ
海外（欧米、韓国、台湾）：食道がん フェーズⅢ
海外（欧米、韓国、台湾）：胃食道接合部がん及び食道がん フェーズⅢ
海外（欧米）：膠芽腫 フェーズⅢ
海外（欧米、韓国、台湾）：小細胞肺癌 フェーズⅢ
海外（欧州、韓国、台湾）：肝細胞がん フェーズⅢ
海外（欧米）：悪性胸膜中皮腫 フェーズⅢ
海外（欧米）：中枢神経系原発リンパ腫／精巣原発リンパ腫 フェーズⅡ
海外（欧米）：びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 フェーズⅡ
海外（欧米）：濾胞性リンパ腫 フェーズⅡ
海外（欧州）：大腸がん フェーズⅠ／Ⅱ
海外（欧米）：固形がん（トリプルネガティブ乳がん、胃がん、膵がん、小細胞肺癌、尿路上皮がん、卵巣がん）
フェーズⅠ／Ⅱ
海外（欧米、韓国、台湾）：ウィルス陽性・陰性固形がん フェーズⅠ／Ⅱ
海外（欧米）：血液がん（T細胞リンパ腫、多発性骨髄腫、慢性白血病、他）フェーズⅠ
海外（欧米）：慢性骨髄性白血病 フェーズⅠ
海外（欧米）：C型肝炎 フェーズⅠ
海外（米国）：敗血症 フェーズⅠ

ONO-4481/Urelumab/BMS-663513 注射剤

ONO-4481はヒト型抗ヒトCD137モノクローナル抗体で、がんなどを対象として開発を進めています。
なお、日本、韓国、台湾は、小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブ社が共同開発、それ以外の地域は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発を進めております。
国内：固形がん フェーズⅠ

ONO-4482/Relatlimab/BMS-986016 注射剤

ONO-4482はヒト型抗ヒトLAG-3モノクローナル抗体で、がんなどを対象として開発を進めています。
なお、日本、韓国、台湾は、小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブ社が共同開発、それ以外の地域は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発を進めております。
国内：固形がん フェーズⅠ

ONO-4686/BMS-986207 注射剤

ONO-4686はヒト型抗ヒトTIGITモノクローナル抗体で、がんなどを対象として開発を進めています。
なお、日本、韓国、台湾は、小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブ社が共同開発、それ以外の地域は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発を進めております。
国内：固形がん フェーズⅠ／Ⅱ

ONO-4687/Cabiralizumab/BMS-986227 注射剤

ONO-4687 はヒト型抗ヒト CSF-1R モノクローナル抗体で、がんなどを対象として開発を進めています。

なお、日本、韓国、台湾は、小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブ社が共同開発、それ以外の地域は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発を進めております。

国内：固形及び血液がん フェーズ I

ONO-7701/BMS-986205 カプセル

ONO-7701 は IDO1 阻害薬で、がんなどを対象として開発を進めています。

なお、日本、韓国、台湾は、小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブ社が共同開発、それ以外の地域は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発を進めております。

国内：固形及び血液がん フェーズ I

ONO-4483/Lirilumab/BMS-986015 注射剤

ONO-4483 はヒト型抗ヒト KIR モノクローナル抗体で、がんなどを対象として開発を進めています。

なお、日本、韓国、台湾は、小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブ社が共同開発、それ以外の地域は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発を進めております。

国内：固形がん フェーズ I

ONO-7702/Encorafenib カプセル

ONO-7702 は BRAF 阻害薬で、悪性黒色腫などを対象として開発を進めています。

国内：悪性黒色腫 フェーズ III

海外（韓国）：悪性黒色腫 フェーズ III

海外（韓国）：大腸がん フェーズ III

ONO-7703/Binimetinib 錠剤

ONO-7703 は MEK 阻害薬で、がんなどを対象として開発を進めています。

国内：悪性黒色腫 フェーズ III

海外（韓国）：悪性黒色腫 フェーズ III

海外（韓国）：大腸がん フェーズ III

ONO-5704/SI-613 注射剤

ONO-5704 は NSAID 結合ヒアルロン酸で、変形性関節症及び腱・靭帯付着部症を対象として開発を進めています。

国内：変形性関節症 フェーズ III

国内：腱・靭帯付着部症 フェーズ II